

第9期瀬戸市高齢者福祉計画・介護保険事業計画 評価表（令和6年度年間評価）

基本目標5 認知症の早期対応と共生社会をめざす施策の推進

評価項目	年間 目標値	中間 実績値	年間 実績値	数値 達成度	事務局 総合評価
認知症サポーター養成講座(地域包括支援センター主催)新規受講者数	113人	0人	60人	○	C
	現段階で5包括が開催済みである（達成率53%）。年度末までに2包括が開催を予定しているが、合計の参加者は100名程度となる予定。（達成率88%）				
地域はつらつ講座延べ参加者数	560人	188人	353人	△	C
	1月末時点で達成率は63%である。今後、年度末までに2回講座を予定しており、参加者は413名程度となる予定（達成率73%）。				

【数値達成度（対目標値）】

- ◎ 100%以上の達成度合
- 75%以上100%未満の達成度合
- △ 50%以上75%未満の達成度合
- × 50%未満の達成度合

【総合評価（目安）】

- A 優れた創意工夫等を行い、目覚ましい効果を上げることができた
- B 創意工夫等を行い、一定程度の効果を上げることができた
- C 課題解決に向け、改善に取り組んでいるが不十分である
- D 課題が解決されず、効果が上がっていない

総合評価

C

担当部署評価

「認知症サポーター養成講座」について、各地区で参加者数に偏りが生じたため実績値が低い。今後開催する地区に関して呼びかけをし参加者を増やしていく。

「地域はつらつ講座」について、包括支援センターにより開催数が偏るため、実施回数が少ない地域には地縁団体等に呼びかけるよう依頼していく。

評価委員会評価

各地域包括支援センターは、対象者の増加等により業務量が多い中で、工夫をしながら「認知症サポーター養成講座」及び「地域はつらつ講座」の普及啓発に意識を持って取り組んでいる点も踏まえて評価をしていく必要がある。

担当部署は、民間企業や地域の医療及び介護の専門職による講座も広く実施されるようになってきていることが、実績が伸び悩んでいる要因の一つとしているが、どのような方へどのような講座を届けたいかという事業の目的を明確にし、必要な方へ情報が届くという観点で考えてみることも必要である。